

きらめく
駿河台大学を
お届けします

vol.244

[スパークル]
Sparkle
Surugadai University News

2024
winter

特集

駿大で環境保全を考える

森林文化科目を担当する平井教授(地理学・観光学)に
現状の問題と取り組みについて伺いました

映像制作×地域連携

CROSSTALK 「キャリア特別プログラム」参加内定者
活動報告 2023年11月～12月

駿大スポーツ #女子ホッケー部 齋藤美咲選手
#駅伝部 第100回箱根駅伝

Circle and Me ターミナル×池野さん



駿大で環境保全を考える



山に綺麗に咲く藤。 実は「絞め殺しの木」!?

5月。新緑の中、山に薄紫色のフジの花が咲いているのを見たことはありませんか? 「キレイ!」と喜んだ方もいるかと思いますが、これ、森にとっては由々しき事態です!!

フジはツル性植物で好日性。木に巻き付き、上へ上へとツルを伸ばしていきます。生命力の強いフジはどんどん育ち葉を広げる一方、絡みつかれた木は太陽光を遮られた上に、ツルで絞めつけられ、やがて立ち枯れ、バサッと倒れます。地に落ちたフジは、次の木に向かい、再びツルを伸ばしていくのです…。

かつて林業が順調だった頃は、人が森へ入り、フジなどが木に絡んでいたら、持っている鉋でバシッと切っていました。しかし現在、林業が縮小し、林業家が激減。森に入る人が減ってしまいました。森はツル性植物にとって、やりたい放題できる場所になってしまったのです。

冬の夜、フジの生える森を歩いていると、パーン、パーンと不気味な音が聞こえてくるかもしれません。それはフジの種が弾けて散っていく音です。次のターゲットを求めて…。

シカによる環境被害は 「人災」?

現在、日本各地でシカの増加とその被害に悩まされています。駿大の里山でも、新芽を食べられた痕跡やチヨコボールのような糞を目にすることがしばしば。

シカたちは生態系を破壊し、生物多様性を脅かし、森を壊しています。また、農林業への影響も甚大。環境省や農水省もシカ対策に頭を悩ませています。

シカが増えた理由は複層的です。シカは順応性が高いため、エサとする植物を柔軟に変え、2歳から出産しはじめ、毎年子をつくりまわす。また、地球温暖化で冬の寒さで淘汰されなくなったことに加え、敵である人Ⅱハンターや林業家が減少し森に入らなくなり、過疎化で増えた耕作放棄地ではシカのエサとなる草が生えています。シカにとっては快適空間です。さらにシカは一時激減したことから国が保護政策をとっていたために急増しているにもかかわらず規制緩和が遅れ、加えて100年以上前には天敵であるオオカミを人間が絶滅させた。人がシカの増加を間接的に直接的に後押ししてきたといっても過言ではないのかもしれません。



駿河台大学では2007年より駿大の里山での森づくりを始めました。2022年からは森をめぐる環境問題を念頭に置きつつ、楽しめる森づくりを目指し、マウンテンバイクのトレイルづくりなど里山の利活用に取り組んでいます。

森林文化科目を担当する平井教授（地理学・観光学）に、その取り組みについてお伺いしました。



一般市民向け講座の実施内容



北欧的に考える

2023
12
02

クリスマスリースづくり

森林の壊死の原因になる蔓や材木店で廃棄されるかなんを活用してクリスマスリースを作りました。



日本的に考える

2023
12
23

ミニ門松づくり

地すべりの原因になりやすい竹を採取して門松を作りました。

Well-being みんながより良い状態に

これまで人々は人にとって都合の良い環境を作り上げてきました。人にとって良いことが地球環境にとって良いことだったのか？答えは否です。全学開講の授業「森林文化A／B」では、森を楽しみ、森に触れながら、環境問題を考えしていきます。Think globally, Act locally（地球規模で考え、地域で行動する）、で環境問題に向き合っています。森はたくさんの恩恵を人に与えてくれます。そして五感を刺激し、人を癒してくれます。

在外研究でフィンランドに滞在している際、よく耳にした言葉、それが“**Well-being**”です。精神的、身体的、社会的に幸せな状態であることをいいます。森は私にとって“**Well-being**”の源となっています。



スポーツ科学部
平井 純子 教授

内定社数と最終的にどの就職先に決めたのかを教えてください。(梅村)

大城 内定社数は6社です。就職先は、東証プライム上場の佐藤商事株式会社という商社です。鉄鋼系の専門商社で、日本七大鉄鋼商社の1社になります。

秋吉 私は、内定社数は3社で、就職先は東芝テック株式会社です。POSレジの世界シェアがトップで同じく東証プライム企業です。

就職活動を振り返って、
ひとことで表すとどうでしたか？(梅村)

大城 自己理解ですね。自分と向き合う期間が就職活動だったと考えていて、自己理解がより深まった感じがします。

秋吉 私は挑戦ですね。実は、勉強や部活動など、今まで頑張ってきたことがあまりなくて、就職活動を頑張るというのは、私にとって挑戦でした。

梅村 その挑戦のハードルは高かったですか。それとも、そうでもなかったですか。

秋吉 早くから始めていたので、それが自信につながりました。ハードルはそんなに高くなかったと思います。小さなことをコツコツ重ねていきました。例えば、筆記試験もそうですし、面接

Sparkle CROSSTALK

キャリアセンターのサポートで未来を掴む！

駿河台大学は、多彩なキャリア支援で学生の将来に寄り添います。
今回は「キャリア特別プログラム」を経て、大手企業からの内定を掴んだ2人と、
梅村 慶嗣准教授をホストに迎え、
感想や気づきを交えながら、就職活動を振り返ります。



あきよし まほ
秋吉 真帆

心理学部4年
東芝テック株式会社 内定



うめむら けいじ
梅村 慶嗣

キャリアセンター 准教授



おおしろ ひろと
大城 洋人

経済経営学部4年
佐藤商事株式会社 内定

練習やエントリーシートを少しずつ進めていきました。

いつから就職活動を始めて、何社くらいエントリーをしましたか？インターンシップも含めて教えてください。(梅村)

秋吉 3年生の6月にキャリア特別プログラム(以下、「特別プログラム」)が始まり、梅村先生から企業研究の方法を教わりながら、就職活動をスタートしました。エントリー数はインターンシップも入れると50社ほどだと思います。

大城 僕も秋吉さんと同じで、就職活動を始めたのは3年生の6月です。インターンシップや説明会を含めて、エントリーした企業数は約100社。様々な業界、業種を調べていました。

梅村 特別プログラムでは、100社エントリーを目標としていました。やはり一定の行動量がないと、成果が出ないと思って。それで、目安として100社。そういう意図がありました。

工夫して取り組んだことがあれば教えてください。(梅村)

大城 ひとつは、目的意識を持つこと。漠然と取り組んでいると軸がぶれると思うので、多くの業界、業種、さらに

は人を見ることを意識していました。もうひとつは、情報収集です。有価証券報告書を読んで面接に臨んでいました。経営計画を熟読すると、事業部によって今後の展望が異なることが分かります。また売り上げの伸び率を根拠として挙げ、だから「この部署でチャレンジしたい」と、具体的な話ができました。

梅村 取り組みの真剣さが相手に伝わりますよね。企業のホームページを少



し見て、なんとなく企業研究をやっているような感覚に陥りがちですからね。
秋吉 私は息抜きを忘れないように意識していました。私は、演劇やお笑いを観ることが好きなので、就職活動に全てを捧げるのではなくて、週1回でも観に行けると息抜きになるし、それまでにやることを終わらせるという目標ができるので、時間を区切ることは大事だなと思いました。ほぼ毎日面接や説明会が詰まっていたりすることが多く、息が詰まることもあったので、趣味にシフトしていました。

駿河台大学は、学生ひとりに対して、専属のキャリアアドバイザーがつくという制度を取り入れていますか、いかがでしたか？(梅村)

大城 僕自身は、有効活用できたと思っています。就職活動は孤独を感じることが増えるので、キャリアアドバイザーと本音でお話ができるというのは、心強いです。何をすべきか分からないという場合には、軌道修正をしてくださるので、頼もしい存在です。

キャリアセンターによる他の支援はどうでしたか？(梅村)

秋吉 エントリーシートの書き方から添削までサポートしてくれる講座がありました。また、SPIをはじめとする筆記試験の参考書や面接に関する書籍が揃っているのは、有益でした。

最後に、在学生へのアドバイスをお願いします。(梅村)

大城 「意志があれば道あり」。この企業に行きたいなとか、ささいなことでも、意志があつて、それなりに努力すれば、前に道は見えてくると思いますので、是非頑張ってください。

秋吉 自信を持つことが、いちばん大事だと思います。エントリーシートを書くうえで、振り返ったときに、意外と就職活動に使える強みを秘めているかもしれません。自分も意外とできるのではという自信は大切だなと思いました。

梅村 特別プログラムを3年生の6月から始めて、毎週木曜日の朝9時から約2時間、かなりハードなプログラムでしたが、皆さんしっかりついてきて、結果が出てよかったなと思います。

今年度メディア情報学部の子活動や産学連携事業で制作された動画をご紹介します。



飯能市の 70周年記念動画を制作

メディア情報学部 長谷 憲一郎 ゼミ

長谷ゼミは「市民とふれあい、社会に必要なことを学ぶ」をゼミのテーマとして、学生チームによる映像作品の制作（3年次）と、映像作品に基づいた地域の広報に関わる個人研究（4年次）を行っています。2023年度は、本学と飯能市の「飯能市市制施行70周年記念連携事業」の一環として、お祝い動画と記念品の手作りコースターを作成しました。動画（3分30秒）は、ゼミでデザインした襷を胸に、ゼミ生と市民の皆様で順に襷を繋ぎ、最後に飯能市新井市長へと届けるという内容です。ランナー達は、市内を巡りながら、襷に市へのお祝いメッセージを書き溜めていきました。撮影は夏の猛暑の中で、汗だくになりながら、15箇所を巡りました。また、手作りコースターは、「森林文化都市宣言」をしている飯能市の特産品である西川材（杉）を使用しました。一個一個研磨して70周年のロゴを焼印し、メッセージカードを添えてラッピングしました。周年にちなんで70個製作し、新井市長をゼミ生一同で表敬訪問し、手渡しさせていただきました。

チームで企画立案およびプレゼン、撮影・編集など映像制作のワークフローを経験する中で、創造性を高め、課題解決能力を身につけてきました。今回、交渉力・チームワークの大切さを実体験し、最終的に、大学の地域貢献の一翼を担うことができたことは、ゼミ活動として大変貴重な経験となりました。



▲飯能市新井重治市長に製作したコースターを贈呈する
長谷ゼミの皆さん



完成動画は、埼玉県飯能市のYoutube公式アカウントで公開されています。左のQRコードから是非ご覧ください。

飯能信用金庫が掲げる
使命や存在意義を動画で表現



メディア情報学部 高田 昌裕 ゼミ

高田ゼミでは実写映像に手を加えて「少しカッコよく、少し面白く、少し新しい」映像を作ることをコンセプトにしています。3年生ではチームで、4年生では各自がオリジナルの作品を0から作り上げます。ジャンルは完全なアニメーション作品から実写とCGを合成したSF作品まで多種多様です。また、それらゼミ制作と共に強く意識しているのがゼミ有志による地域連携を目的とした映像制作です。2022年度は飯能市立博物館からの依頼で、特別展「天覧山」イメージムービーを制作しました。約2ヶ月にわたり博物館ロビーにて上映され、多くの方にご覧いただきました。そして2023年度は飯能信用金庫との産学連携事業の一環として「パーパスムービー」の制作を行いました。2ヶ月半という決して長くない期間の中で、同様の作品をリサーチするところから始まり、企画打ち合わせを重ねます。一般道路での撮影許可も学生自身で取得したりと、皆が自分の役目に責任を持って行動しました。機材もスマートフォンからミラーレス一眼、そしてドローンまで状

況に応じた機材を選択し、エンディングではCGも合成するという力作になりました。学生の制作物という事に留まらない高品質な映像作品が出来上がったと、携わった一人一人の自信にもつながりました。



▲高田ゼミ有志の皆さん



動画公開中!



完成動画は、駿河台大学のYoutube公式アカウントで公開されています。左のQRコードからは是非ご覧ください。

その他の活動、最新情報は大学HPやX（旧Twitter）で更新しています。ぜひご覧ください。



公式HP



公式X



スポーツ科学部1期生「卒業研究」提出

2023年12月14日(木)

スポーツ科学部の1期生たちは大学4年間の総仕上げとして、学生毎に研究テーマを決め、研究した成果を論文にまとめ上げました。提出日当日は、体裁チェックなどを行うため、卒業論文を持って、教員が待つ提出会場に列を作っていました。その表情は、完成して安堵した顔、疲れ切ったような顔、提出の前にして緊張した顔など、さまざまでした。2024年1月20日には「卒業研究発表会」も行われました。



第11回駿大外国語プレゼン大会

2023年12月19日(火)

グローバル教育センター主催の外国語プレゼン大会を開催しました。発表演語は、英語・中国語・ドイツ語・スペイン語・日本語で、留学や短期語学演習での経験、国々の文化や言葉・表現の違い、世界情勢など様々なテーマのプレゼンを行う10組25名の発表者が参加し、約180名の観客が集まりました。趣向を凝らしたパワーポイントやユニークな寸劇などバラエティーに富んだプレゼン内容で会場は盛り上がりしました。



ハラスメント防止啓発 標語・川柳表彰

2023年12月22日(金)

ハラスメント防止啓発を目的に、標語・川柳を募集しました。40件の応募の中から以下3名が受賞しました。受賞者には、大森一宏学長より表彰状と副賞が授与されました。【最優秀賞】「セーフでしょ？」そう言う人は「アウトだよ！」(心理学部4年・椎野星菜)【優秀賞】軽率な言葉ひとつで The end (スポーツ科学部3年・松浦志帆)／見ないフリ 知らないフリも 同じ罪(職員・荒井勇作)

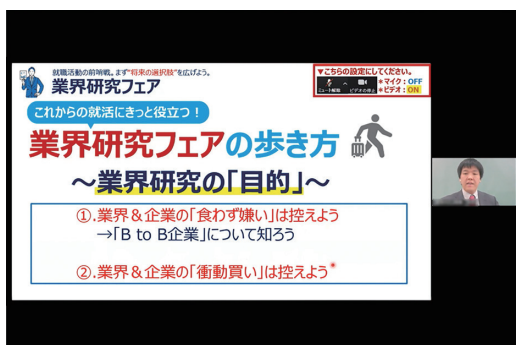


留学生の「いけばな」体験

2023年12月21日(木)

交換留学生と一般留学生が参加し、講師の方のご指導を受け、花を生ける体験をしました。留学生たちはいろいろな角度から、自分の作品を眺め、じっくりと考えながら形を作っていました。ひとりひとりの個性が垣間見える素敵な作品が出来上がり、完成後は作品と一緒に写真を撮る姿やお互いの作品を鑑賞する姿が見られました。参加者みんなの笑顔と鮮やかな花々でグローバル教育センターが華やかになりました。

駿河台大学の活動報告 *activity report*



業界研究フェア

2023年11月2日(木)

3年次・院1年次生対象(1・2年次生も参加可)の「業界研究フェア～業界・企業選択のヒントにしよう!～」をオンラインで開催しました。各業界のリーディングカンパニーである9社をお招きし、各企業の採用担当の方から業界に関するセミナーを行っていただきました。メモを取り、傾きながら熱心に話を聴いている学生が多く、質疑応答の際にも企業へ積極的に質問する姿も印象的でした。



シンポジウム『北欧の環境教育からの学び』

2023年11月2日(木)

第4回駿河台大学総合研究所(教育・AI・データサイエンス研究部門)主催シンポジウム『北欧の環境教育からの学び 子ども向け自然体験プログラムを考える』を実施しました。シンポジストに、スウェーデンの野外教育・環境教育専門家 Maria Hammarsten 氏、なぐリトリート 平沼千穂氏、一般社団法人里山こらばのユウダイ氏をお迎えして、ご講演いただきました。



飯能市市制施行70周年記念表彰の授与

2023年11月3日(金)

飯能市市制施行70周年記念式典にて、本学が飯能市より表彰されました。今回の記念表彰につきましては、「平成26年度から令和4年度までの間に飯能市への発展に寄与又は市民の模範となるべき功績における表彰」として、143人、29団体が表彰されました。個人で授与された143人の中には、本学の教員2名、名誉教授2名・客員教員1名も表彰されました。



シンポジウム『「異常」の日本美術史』

2023年11月8日(水)

第3回駿河台大学総合研究所(教養文化研究部門)主催シンポジウム『「異常」の日本美術史-日本人はどうしてこちらを見ないのか?』を実施しました。シンポジストに大阪大学日本語日本文化研究センター(CJLC)教授の岩井茂樹先生をお迎えして、ご講演いただきました。指定討論者は、本学経済経営学部村上大輔准教授とスポーツ科学部岩橋真知子講師が務めました。

限界を超える！
駿大スポーツ

挑戦し成長を楽しむ！

女子ホッケー部



法学部2年 齋藤 美咲選手

齋藤選手はキーパーとして2022年からホッケーのU21日本代表に選出され、第10回 FIH ジュニアワールドカップ 7位に貢献しました。本学女子ホッケー部の通称名『Ladybirds』でんとう虫に込められた“上へ上へと登っていく”という言葉どおり、挑戦と成長を重ねる齋藤選手に取材しました。



小中高大と続けてきたホッケーの魅力

ホッケーは、道具を自分の体の一部として扱うのが醍醐味。道具を使うからこそ戦略があり、それをどう組み立てて試合を作り、勝つところまで持っていけるかを考える面白さがある。特にキーパーは、決まった枠内から出られず自由に動けない。その分、声で後ろからサポートすることも仕事の一つ。同じコートで戦う仲間たちがどう動いたら攻めや守りに活きるか考え声掛けをする。それがうまくはまった時は、一番楽しさを感じる。高校までは、スティックを操るだけで精一杯で、ボールのやり取りが単調になりがちだったが、大学ではほとんどが経験者で、動きに余裕がある。勢いがあり、ゲームの組み立て方にもバリエーションも多く、プレーしていて面白いと思う瞬間がさらに増えた。

自分の夢と競技が結びついた

駿河台大学へ

日本リーグに参加する5大学の中で、駿河台大学以外は、4強と呼ばれる強豪チーム。そこに食らいつく駿河台大学は、チャレンジャーとして何も恐れずに挑める環境だと感じた。

そして、教員免許が取得できることも

進学を決め手となった。教員を目指した

きっかけは、小学生の時、教え方が上手な担任教師から学ぶ社会科学科の授業がとても面白かったからだ。ホッケーの強化と教師を目指すことができる駿河台大学は、自分にとって一番良い場所だと思った。

「このチームの為に頑張りたい」と心から思える

駿河台大学女子ホッケー部は、個々の力に頼って戦うのではなく、互いにカバーしあって、強いチームにもひるまず立ち向かっていくチーム。そして、学年の壁がなく、伝えるべきことは積極的に行い合える環境がある。明るくフレンドリーなメンバーだからこそ、どんな時でも笑って最後までやりきる心がプレーの粘り強さに繋がっている。

創部からの悲願である関東制覇を自分たちの世代で達成するため、U21日本代表チームで得たことを部に還元し、一瞬一瞬を大切にしながら楽しんで挑戦していきたい。また、良い環境に恵まれたことと、これまで支えてくれた方々に感謝して、今後もホッケーと向き合い、より多くの方たちにホッケーの魅力を広めていきたい。

第100回 箱根駅伝の大舞台で存在感を示す！

2024年1月2日～3日、「駿河台大学」の大学名が入った襷を胸に10人の選手たちが東京～箱根間を駆け抜けました。往路では14位でゴールし、シード圏内の10位のチームとは34秒差で、伝統校を脅かす激走を見せました。総合順位は、過去最高の18位！次回も予選会から本戦出場10枠を狙う各大学の熾烈な争いが予想されます。今後も駅伝部の活躍にご期待ください。

1区 21.3km



1年
経済経営学部
S. レマイヤン
1時間01分34秒
区間順位 6位

2区 23.1km



4年
スポーツ科学部
新山 舜心
1時間10分13秒
区間順位 21位

3区 21.4km



1年
スポーツ科学部
古橋 希翁
1時間04分11秒
区間順位 18位

4区 20.9km



2年
スポーツ科学部
東泉 大河
1時間02分52秒
区間順位 14位

5区 20.8km



2年
スポーツ科学部
倉島 啓人
1時間12分01秒
区間順位 5位

往路
14位

10区 23.0km



1年
メディア情報学部
久保 俊翔
1時間10分27秒
区間順位 13位

復路
21位

総合
18位

9区 23.1km



2年
メディア情報学部
長田 拓巳
1時間12分40秒
区間順位 21位

8区 21.4km



2年
スポーツ科学部
岡崎 樹
1時間05分37秒
区間順位 12位

7区 21.3km



2年
スポーツ科学部
藤井 空大
1時間05分39秒
区間順位 21位

6区 20.8km



2年
スポーツ科学部
塩路 悠羅
1時間01分44秒
区間順位 23位



写真・鉄道サークル「Terminal」×池野優太〔法学部・4年〕

写真・鉄道サークル「Terminal」

を立ち上げたきっかけは何ですか？

駿輝祭で、子供来場者向けにブラレールで飯能駅周辺の再現展示を企画・実施しました。この活動を通じて、私と同じく駿輝祭実行委員会に所属するメンバー内で鉄道好きを2名見つけることができました。この企画の反響が良く、サークル設立の必須条件である部員3名が揃ったことから、サークルとして活動することになりました。
どのような活動をしていますか？

現在部員は6名で、今年は毎週月曜の10時～20時に教室を自由に出入りして活動しています。主にNゲージ（鉄道模型）やブラレール等を行い、実際の鉄道路線の再現や撮影・走行会をしています。年に数回程度学内でジオラマ展示のイベントも行っています。学外では日帰りの『ちょっと旅』をしています。また夏と秋に目黒区内の児童館にてブラレールイベントのお手伝いをするなど遠征活動もし

ました。「Terminal」は、新幹線好きもいれば、古い列車好きもいて、部員それぞれが得意にしている分野の魅力をお互いに教えあって楽しんでいます。

履修科目で好きな授業は何ですか？

受講中の「地理学概論」が面白いです。人文地理学の分野から、交通の発展などについて学びました。元々駅による街づくりに興味があつたので、鉄道を新たな角度から見つけることができ、新しい発見がありました。

今後の目標は何ですか？

「Terminal」は今年、私を含む2名が卒業するので、これまでの活動してきたノウハウを引き継いで駿輝祭を盛り上げてもらいたいです。卒業後は、希望していた東日本旅客鉄道株式会社の駅員として勤務します。まだ勤務地は決まっていますが、どこの駅に配属になっても、その土地の魅力を知って街づくりに関われるように頑張っていきたいです。